

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 開発途上国の巨大都市などにおいて、職を求めて流入した低所得者層が密集して住み、水道や下水道などの公共サービスが不十分で居住環境が劣悪な地域を何と呼びますか。また、ブラジルにおけるその呼称として正しい組み合わせを選びなさい。

(2021年 佐賀公立入試 類似)

1. スラム（ブラジルではファベラ） 2. ニュータウン（ブラジルではセルバ） 3. スラム（ブラジルではパンバ） 4. ニュータウン（ブラジルではファベラ）

問2 オーストラリア大陸は、その面積の半分以上を乾燥帯が占めています。このような気候条件に関連して、オーストラリアの内陸部で行われている土地利用や産業の特色として正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

1. 地下水が得られる地域などで、乾燥に強い羊の放牧が大規模に行われている 2. 年間を通して降水量が多いため、内陸部全体で大規模な稲作が行われている 3. 肥沃な黒土と適度な降水量を活かし、世界最大の企業的穀物農業が展開されている 4. 針葉樹の天然林が広がっており、パルプや木材の輸出が産業の中心となっている

問3 ブラジルのアマゾン川流域で見られる、開発と先住民の生活保護に関する記述において、森林の変化が先住民にどのような影響を及ぼしているか、その背景を含めて説明したものと正しいものを選んでください。 (2022年 宮城県公立入試 類似)

1. 輸出用の農産物を生産するための土地確保を優先した結果、先住民が伝統的に行ってきた生活様式を維持することが困難になっている。 2. 先住民の住居を近代化するための都市開発が進んだ結果、森林の伐採面積が増え、若者が都市部へ流出する問題が起きている。 3. 野生動物を保護するための自然保護区が設定されたことにより、先住民が狩猟を行うことが法律で全面的に禁止されている。 4. 先進国による環境保護団体の活動が活発化したことで、先住民が伝統的な焼畑農業を続けることができず、食料不足に陥っている。

問4 ブラジルなどが加盟する地域統合体「MERCOSUR（メルコスール）」が、加盟国間で行っている取り組みの目的や背景を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

1. 域内での関税を段階的に撤廃し、互いの貿易を活発にすることで、経済的な競争力を高めるため。 2. 共通の通貨を導入することで為替変動の影響をなくし、南アメリカ全域の政治的な統合を加速させるため。 3. 東南アジア諸国との連携を優先し、太平洋を囲む国々との巨大な自由貿易圏を構築するため。 4. 北米の経済圏に対抗するため、域外からの工業製品の輸入を一切禁止して自国の産業を保護するため。

問5 ペルーの主要な水産資源であるアンチョビの利用や、その背景にある環境について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)

1. 漁獲されたアンチョビは、主に家畜の飼料や肥料となるフィッシュミールとして輸出されるほか、国内の山岳地帯では重要なタンパク質源として利用されている。 2. アンチョビは暖流の影響で大量に発生し、その多くが日本や中国向けの生食用として空輸され、ペルーの輸出額の過半数を占めている。 3. アンチョビはタコやイカとともに乾燥加工され、熱帯雨林が広がる首都周辺の住民にとって唯一の現金収入源となっている。 4. アンチョビの漁獲量は、エルニーニョ現象が発生して沿岸の海水温が低下すると急増するため、国の経済を支える安定した資源となっている。

問6 世界の牛肉生産統計において、アメリカ合衆国、ブラジル、中国、アルゼンチンに次いで上位に位置するオーストラリアの畜産業の特徴を説明したものと、正しい記述はどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

1. 比較的降水量が多い北部や東部の沿岸地域を中心に、肉牛の放牧が行われている 2. 羊肉の輸出で知られるニュージーランドと同様に、国土のほぼ全域で牛の放牧が均等に行われている 3. 牛は乾燥に非常に強い性質を持つため、内陸部の砂漠地帯を主な放牧地域としている 4. 羊の飼育が集中する南部や西部の沿岸部において、羊と同じ割合で肉牛の飼育が行われている

問7 南アメリカ大陸のアルゼンチンにおいて、首都ブエノスアイレスを中心に広がる広大な草原地帯の名称を何といいますか。

(2023年 福島県公立入試 類似)

1. パンパ 2. セルバ 3. サバナ 4. グレートプレーンズ

問8 南アメリカ大陸の赤道付近に位置し、1830年に独立を果たした国があります。この国の領土に含まれる諸島は、かつてチャールズ・ダーウィンが訪れて生物の調査を行い、その後の進化論の成立に大きな影響を与えたことで知られていますが、この国はどこですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)

1. エクアドル 2. コロンビア 3. ブラジル 4. ペルー

答え合わせ・解説

問1	答え 1 スラム（ブラジルではファベラ）	開発途上国では都市化が急速に進む一方で、流入する人口に対して住宅供給やインフラ整備が追いつかないことがあります。その結果、経済的に貧しい人々が集まり、居住環境の悪い地域である「スラム」が形成されます。ブラジルではこのスラムを「ファベラ」と呼ぶのが特徴です。選択肢にある「セルバ」はアマゾン川流域の熱帯雨林、「パンパ」はアルゼンチンなどに広がる温帯草原を指します。
問2	答え 1 地下水が得られる地域などで、乾燥に強い羊の放牧が大規模に行われている	オーストラリア大陸の内陸部は降水量が少なく、農作物の栽培には適さない乾燥帯が広がっています。そのため、大鑽井盆地（グレートアーテジアン盆地）などで得られる塩分を含んだ地下水を掘り抜き井戸で汲み上げ、乾燥に強い羊の飲み水として利用することで、大規模な牧羊が行われてきました。一方、稲作やタイガ（針葉樹林）はより湿潤な気候や冷涼な気候に見られる特徴であり、乾燥帯が広がるオーストラリア内陸部の記述としては不適切です。
問3	答え 1 輸出用の農産物を生産するための土地確保を優先した結果、先住民が伝統的に行ってきた生活様式を維持することが困難になっている。	ブラジルでは外貨を獲得するために大豆などの輸出用作物の栽培が推進され、それがアマゾンでの農地開発を加速させました。開発によって森林という生活の場を失った先住民は、代々受け継いできた狩猟や採集、小規模な農業といった伝統的な生活ができなくなっています。このように、経済発展のための開発と、マイノリティである先住民の権利や文化保護をどう両立させるかが、現代の南アメリカにおける重要な政治的・社会的課題となっています。
問4	答え 1 域内での関税を段階的に撤廃し、互いの貿易を活発にすることで、経済的な競争力を高めるため。	経済発展を目指す南アメリカの諸国が、互いの関税をなくして市場を一体化させることで、先進工業国に対抗できる経済力を養おうとしています。1991年のアスンシオン条約に基づき、域内貿易の自由化が進められてきました。
問5	答え 1 漁獲されたアンチョビは、主に家畜の飼料や肥料となるフィッシュミールとして輸出されるほか、国内の山岳地帯では重要なタンパク質源として利用されている。	ペルーで大量に獲れるアンチョビは、魚粉（フィッシュミール）に加工されて世界中に輸出され、主に家畜の餌や農作物の肥料として使われます。一方で、新鮮な魚が手に入りにくいアンデス山脈などの山岳地帯の住民にとっては、貴重な栄養源（タンパク質）としての役割も果たしています。なお、エルニーニョ現象発生時は海水温が上昇するため、漁獲量は減少します。
問6	答え 1 比較的降水量が多い北部や東部の沿岸地域を中心に、肉牛の放牧が行われている	オーストラリアは世界有数の牛肉生産・輸出拠点ですが、その生産地域は気候によって限定されています。統計で上位を占めるアメリカやブラジルと同様に、広大な土地を利用した放牧が特徴ですが、オーストラリア国内では特に降水量の確保しやすい北部から東部の沿岸部が肉牛放牧の中心的役割を担っています。
問7	答え 1 パンパ	アルゼンチンの東部に広がる温帯の草原地帯です。この地域は肥沃な土壌に恵まれており、世界的な農業地帯として知られています。同様の草原地帯として、北アメリカのグレートプレーンズやプレーリーとしばしば比較されます。
問8	答え 1 エクアドル	エクアドルはスペイン語で「赤道」を意味する言葉であり、その名の通り赤道直下に位置しています。1830年に大コロンビアから分離独立しました。ダーウィンは1835年にこの国の領土であるガラパゴス諸島を訪れ、その観察記録が後に『種の起源』を執筆する際の重要な根拠となりました。